



猛暑の夏のあとに台風の上陸が続いたために、この秋の紅葉は、あまり期待できないようですが...晩秋のやわらかい陽射しを楽しみたいものです。

感覚的なこと、触った感じ

「触覚」を重視した商品が増えている。これまで、人の「触覚」では、クリームな滑らかさやカシミアの柔らかさといった指先、舌先で触った感じを訴求する商品が多かったが、近ごろ目覚めた「触覚」は、より広い範囲に広がっている。

江崎グリコのアイスモナカ「ザックス」はかき氷のザクザク感を商品化。セブンイレブン「ミルクたっぷりとりんシュー」では<とろーりととろーとの新食感>。ダイドードリンク



「さらっとしぼったオレンジ」は<果実パルプのさらっとした喉ごしが搾りたて感覚>。「ポッキーG」では、パッケージでパリんと折れたポッキーを見せて、<齧った歯ごたえや折れた瞬間の感覚>を思い出させている。また、資生堂のリップ「ピエヌ ゴールデンリップフレッシュ」は、<はじけるようなプルンとした唇>。ザクザク、とろりん、さら

っと、プリンと、と触覚を音で表すネーミングが使われるのも特徴だ。触覚は体感温度とも関係があるので、夏商品にはヒンヤリ、冬商品にはホカホカが関係し、例えば、トイレでは冬場に座るとホカホカが触覚がいい、となる。肌が触れるお風呂やトイレばかりではなく、住宅周りは壁材や床材に触覚を訴求するものがある。木肌の爽やかさやコルク床のクッション性、さらには新日軽のアルミ「C Bシリーズ」で、もともと触れると冷たい感触のあるアルミの表面に凹凸処理を施し、手とアルミの接触面を減らすことで<あたたかみのある触覚>を実現したものである。アルミのような金属でもヒンヤリよりすこし温かみのある触覚を求めるといのが、やさしさを求める時代にマッチしているようだ。

また、手の触覚で誰しも気になるのが、スイッチのON OFFや、MD等のスクロール機能の「節度感」の良さ、悪さ。キーボード・タッチやマウス・タッチにもよし悪しというか、好みの差があるし、そういえば、銀行のタッチパネルにも、指示が伝わりやすく快適な銀行と、言うことを聞かない不愉快な銀行がある！

こういった感覚の気持ち良さを評価して商品を購入する感覚派が増えていることが商品に表れてきたようだ。



Apple iPod 20GB (Click Wheel)

ゴシゴシでなく、クルクルの軽いタッチ

重曹(じゅうそう)を使った掃除が主婦の間で流行ってきている。料理でふくらし粉として使われている重曹は、薬局で買うことが出来る白いパウダー状のもの。水に少し溶けて、水溶液は弱いアルカリ性。粒子が細かく、水に溶けにくいので、クレンザーのように磨き粉として利用できる。カップについた茶渋、コーヒー、タバコの汚れに効果あり。

強い油污れには、汚れに重曹をふりかけておくと、油がポロポロに剥がれてくるので、それを拭き取ればよいし、水ハネで汚れやすい水道レバーは、重曹をつけた布でクルクルと拭けばピカピカになる。ほんとうに、クルクルでピカピカになるのがうれしいところ。カーベットの掃除にも使える。さらさらとふりかけて、カーベットの揉み込むようにしてから、掃除機で吸い取る。というわけで、重曹は軽いタッチの掃除が可能な日常のお助けものだ。

生活の軽快さ VS 持ち物

軽さといえば、生活も軽快に身軽にしたいもの。身の回りには形やサイズを揃えることが出来ない物が多くて、それが場所を取っている。

では、PC内のフォルダのように、同じサイズの箱に荷物を入れて、日付と項目を付け、必要なら目録を作ればいいのか、とも思うが、物のサイズがあまりにも異なるので、箱を使った収納では、今、押し込んである以上のスペースが必要になってしまう。

変形の本、重ねにくい和食器、たたみ難い衣類、帽子、特に趣味性の高いものや、お土産品、思い出の品といったものには変形ものが多い。

「サイズを揃える」ことが出来て「重ね易い」は、「整理」しやすく「収納」しやすいとわかっていても、捨て難さとの葛藤で、持ち物軽減の決定打が見つからないのだ。

そんなところに、アメリカで90年代半ばから人気急上昇して、日本でも流行りつつあるという「スクラップブック」の話聞いた。これは写真を使ったペーパークラフトで、オリジナルなデザインを施して作るアルバムのようなもの。

欧米では暖炉の上などに代々の家族の写真や小物を飾るが、その暖炉の上に表現される家族の歴史を、写真をスクラップして作るアルバムといったものだが、名前のとおり、しまい込んだままになっている古いアルバムを再整理したり、溜ま



Karen Burniston

り込んだ写真を整理する、といった意味もあるようで、スクラップブックした「作品」と、スクラップとして捨ててもよい「ゴミ」に分けることも目的(?)のひとつ。

なるほど合理的ね、と思ったのもつかの間、ここにも落とし穴があって、スクラップブックを美しく可愛く作るための道具やパーツが数限りなくあり、買い整えると、それはそれでかなりの物が増えてしまうのだそう...。持ち物を減らすには、それなりの覚悟が必要なのね。